

令和2年6月5日

学 生 各 位

教育担当理事・副学長 山本 俊彦

「プラト一期」への移行に伴う前期授業等の対応について

全国的な「緊急事態宣言」の解除を受け、三重大学としての行動指針の警戒レベルを6月4日をもって「プラト一期」に移行することになりました。「プラト一期」においては、「オンラインによる授業を中心に進めながら、最大限の感染予防対策を講じることで一部の授業や試験を対面で実施できる」こととなります。

こうした行動指針や基準の変更を踏まえて、三重大学では、対面による授業及び試験の実施、さらには課外活動再開の可能性についての検討を進めています。みなさんも私たち教職員も一日でも早くキャンパスの日常を取り戻すことを期待してきたところですが、大学での活動の再開は、1000人単位の人間が移動し、さまざまな施設を利用した活動が展開されることになり、抑えられてきた感染のリスクが増大することにもなります（東京や福岡ではその兆候が見られるようです）。キャンパスでの活動を再開するにあたっては、国の「新しい生活様式」に示されているように、これまで以上の感染防止についての自覚と行動変容による対応が求められることとなります。したがって、再開される授業や活動も限定され、厳しい条件のもとでの活動とならざるを得ないことを理解しておいてください。

三重大学ではおおむね7月からの再開を目指して検討と準備を進めることとしていますが、再開される授業や活動、日程等の具体的な予定については、この後（20日ごろまで）各学部・研究科から出される情報で確認するとともに、各学部・研究科からの指示に従ってください。

活動を再開するためには、2週間の経過観察が求められますが、これからの活動には、みなさん一人一人の健康状態が大きく影響することになります。毎日の検温を欠かさない、日常生活において3密を疑われる行動や不要不急な活動を避けるなど自覚ある生活と健康管理を怠らないようにしてください。